

NVC Monthly

同好会ニュース

寝屋川映像同好会会報

第56号(201403)

発行 竹田幸男



竹下 功さん 「ヨセミテ国立公園」より



例会の窓

平成26年2月例会

日時 平成25年2月14日(金) 13:30~16:30

場所 寝屋川市民活動センター 4階 子供部屋

出席者:天野 新井 石田 小林 佐伯 竹下 竹田 谷 田淵 富田

欠席者:なし(50音順・敬称略)

例会次第

1. 各会員の最近の活動状況・情報交換

- ・特に編集技術を習得しつつある人の状況。

2. 報告・連絡・協議事項

(1) 会報筆者 富田さん

(2) 次回撮影会

- ・鉄具さんが行き先や日時を提案されている。これについて検討して頂きたい。
山田池 神戸ハーバーランド 松尾大社 上賀茂神社 難波

(3) 映像フェスティバルの準備

- ・今年5月31日(土)なので2月には、出品候補が固まっていること。
内容の修正改善は3月例会までに完成してほしい。

(4) 第3回文化連盟展

- ・5月25日(日)
- ・作品出品は映像寝屋川から森口、小北の2氏。
- ・映像協会として文化連盟会員親睦研修会の記録ビデオを1作。
- ・同好会として谷さんの「ウグイスの巣立ちの頃 常寂光寺」を出したい。

(5) 同好会ビデオ作品発表会

- ・平成26年秋～平成27年春予定、映像フェスティバル出品作+1～2作

(6) 例会作品の映写方法は、どうするか。DVDは機器を確保している。DVは持ち回りを続けるか。AVCHDはカメラ持参で良いか。

3. 映写・合評

(1) 谷さん 大自然のパノラマ 立山 7分(映像フェスティバル出品)

- ・2つ目のBGMの途中で映像が終わりになっているので、映像の最後と音楽の最後とが一致するように工夫されてはどうか。
- ・最初に谷作品(または制作 谷、などと入れてみてはどうか。

(2) 天野さん 北野天満宮 梅 雪 6分

(3) 天野さん 1 day 南禅寺 5分59秒

(4) 天野さん 花灯路 5分37秒

- ・以上は過去制作の作品で、このうち北野天満宮又は花灯路のいずれかを映像フェスティバルに出品することを検討中。

(5) 竹下さん ヨセミテ国立公園編 9分45秒(映像フェスティバル出品)

- ・雄大な風景が迫力有り。
- ・ナレーションを合成音声からナレーターに変えることを考えている。

- ・ナレーションがBGMが大きくて聞き取りにくい部分が有り、BGMレベルを検討頂く。

(6) 新井さん 囲碁・将棋教室 ある少女の挑戦 9分

- ・題名からは、もう少し突っ込んだ内容を期待したが、名前負けしている。
「挑戦」の名にふさわしい本人の意欲などを表現できれば素晴らしいが。

(7) 新井さん 成田山の節分祭 9分38秒

- ・最後の本人が写っている場面で、そのときの気持ちをナレーションにして入れてはどうか。本人の声がいいのでは。

映像フェスティバルには(6)(7)のいずれかを出品。

(8) 富田さん ローカル線 南房総の旅 8分

- ・旅の最後に偶然テレビの東日本大震災の津波の場面が入った。

(9) 富田さん 博多 祇園山笠 8分

- ・初めて編集された作品
- ・山車が走っている所は音楽もテンポの速いものを使った方がいいのでは。
- ・ピントがあっていないのでは？ オートになっていないのではないか。

4. 会員の当面する問題点質疑応答

5. 来月の開催日 3 / 14 (金)

- ・合同例会、協会総会 3 / 23 (日)

6. 次回のカメラ当番(天野さん)



日本全国^{ナマ}生録^{ログ}の旅

富田一雄

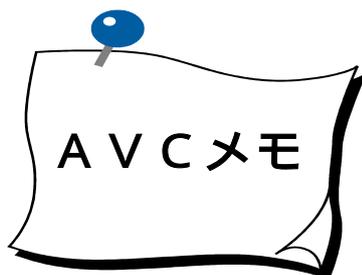
ビデオを始める前は、汽車が好きで、子供の頃、父が国鉄の吹田に勤務していたとき、父の非番に汽車に乗せて貰うのが好きで、吹田から岸辺までの約4kmを回送する機関車の運転室に乗るのが楽しみでした。汽車は操車場のポイントの多い所を走るので、上下・左右に揺れ、手すりにしがみ付いて乗った思い出があります。

学校を出て働くようになると、汽車の録音をするようになって、北海道の稚内から九州の指宿まで、録音(生録)の旅をするようになりました。父が国鉄職員の関係で、各地の職員の宿泊施設に泊まることができました。録音機はナショナル、今はとうに無くなって、機種はよく覚えていませんが、5インチのオープンリールのテープを使い、走行中は5~6時間連続で録音していました。このテー

プが1本600円から1,200円ほどしました。当時の月給が一万円前後で、テープを買うのが大変です。

次に録音機の電池、これが9Vで、単一電池6個を直列につないでも電池がすぐなくなる状態で、日本橋で箱形の1個3Vの電池を3つ買い、つないで9Vに持っていく事で解決できました。次はマイクの風の音が問題となり、タオルで巻いたりしていたが、市販のスポンジ形の風よけが手に入り、またガラス窓にビニールの丸い吸盤を使ってマイクを止めることで、ようやく録音がうまく出来るようになった頃には、国鉄も電化が始まり(昭和45年頃)、録音できる路線も少なくなってきました。困ったのはトンネルで、音を採るために窓を開けておくと、煙が入り、他のお客からにらまれるのには困りました。

面白いのは大阪市内からでも、当時まだ蒸気機関車が引く急行列車が残っていました。それは毎週土曜日の朝、天王寺発の白浜行き紀勢本線の臨時急行で、大阪からは電気機関車で引き、和歌山から汽車となります。この列車は田辺から白浜まで、短区間ですが登り返りがあり、汽車に乗る面白みもありました。機関車はC58型で、客・貨両用の機関車でした。



プレミア エレメンツ12 試用記

竹田 幸男

パソコンを使ったノンリニア編集において、映像がハイビジョン化してから、ずっと使いやすい編集ソフトを模索してきました。

Ediusは高性能・高機能で、設定が非常に詳細にわたってカスタマイズでき、微妙な調整ができる反面、それだけに操作する部分、設定する部分が多くて、何処をいじっていいのかわからず、また設定を誤ったときは所望の動作が出来ない、また何故出来ないか、理由がわからない等、慣れない人の行動を制約する場面があり、習得に時間がかかる、という課題がありました。

もっと易しく操作できないか、と、ウインドウズ ライブムービーメーカーなどを試してみましたが、性能や機能などに問題があり、もう一つ推進しかねる所がありました。

最近の会員の中にぼつぼつと使用者がでてきたものに、プレミア関係のソフトがあり、その中の最も簡易なプレミアエレメンツ12を、試しに使ってみた感想をご報告します。

インターネットで探していると、アドビから期間限定でフォトショップ エレメンツ12との組み合わせが13,000円台(今は15,000円台)で出ていたので早速購入しました。プレミア エレメンツ12単独なら8,000円台で買

えるようです。

インストールすると早速アクチベーションを要求してきますので、インターネットにつないでいると簡単に終了します。オフラインでもできるようですが、少し手間取りそうな感じです。ということは、1台のパソコンにしかインストールできないように思われます。

デスクトップにできた紫色のアイコンをクリックして開いて見ると、まず「整理」と「ビデオエディター」と2つの入口があり「ビデオエディター」をクリックすると、編集画面に入り、画面上の方の「クイック」「ガイド」「エキスパート」のタブの選択から、「クイック」を選んだ場合は、画面中央に編集中の画面または再生中の画面を示すプレビューウインドウが、また画面下方にストーリーボードといって、各映像クリップのそれぞれの代表画面が左から右に向かって並べられます。他の編集ソフトに見られるように、プレビューウインドウの横に、登録したビデオクリップを並べるピンウインドウがないので、すっきりした画面構成です。

「エキスパート」をクリックしたときの違いは、画面下方の「ストーリーボード」の代わりに「タイムライン」が配列されます。

初期設定でもビデオトラックが3本、オーディオトラックが3本あり、この2つはいくらでも追加できそうですが、多くすると隠れるので使いにくくなります。その他にナレーショントラックとサウンドトラックが1本ずつあります。

画面の下端には「インスタントムービー」「ツール」「トランジション」「タイトルとテキスト」「エフェクト」「オーディオ」「グラフィック」などのタブがあって、わかりやすく種々の効果を使えるようになっています。効果はそれぞれ相当な数が用意されていますが、効果を完了するまでの時間（デュレーション）は変えられるが、効果の掛かり方は固定で、E d i u sのような細かい微調整は出来ません。ここは入門用という位置づけでしょう。現地音、B G Mやナレーションの音量は部分的な増減が可能で、使いこなせば、かなりの作品が出来そうです。

一つだけ気になったところが有り、それはタイトルと次の画面の間でクロスディゾルブを掛けたとき、動きのある画面がストップモーション（立ち止まった感じ）から動き出したように見えたので、中心を動きのある映像の方へずらせてやると目立たなくなりました。ほかにもこういうことはあるかもしれませんが、このように工夫すれば目立たなく出来るのかもしれませんが。

B G Mも何種類か付いていますが、選択するとダウンロードするようです。グラフィックなどもダウンロードのようです。ウェブにつないでいないと入って来ません。

とにかく、出来上がった映像もきれいで、何かのソフトを使って編集をした事がある人ならば、戸惑う事無く使う事が出来ると感じました。S D（D Vなどの標準画質）用の編集ソフトを使っていて、そのソフトがハイビジョン対応では無

いため、ハイビジョンカメラでの映像の編集が出来ないで困っている方には好適だと思えますし、今現在E d i u sなど高級ソフトを使って苦闘している方も、時には骨休めのつもりで気軽に使ってみても良いのではないかと感じます。

Y o u T u b eでも内容紹介ビデオが出ていますので、ご参考に。

https://www.youtube.com/watch?v=3hVgb_6RKD0

<https://www.youtube.com/watch?v=jWGFnVDjBX8>

<https://www.youtube.com/watch?v=aA33SbDIA70>

以上、ここでは試用記であり、紙上講習会では無いので、今回はこの程度にしておきたいと思えます。また会員諸氏からの希望があれば講習会などを考えたいと思っています。 ■